

教養研究センター2013年度基盤研究
「慶應義塾大学のカリキュラム研究」企画

シンポジウム

学事日程 と 日吉キャンパス

パネリスト：

金田一真澄（理工学部教授・日吉主任）

「学期制をめぐる学内論議について」

種村和史（商学部教授・教養研究センター副所長）

「学期制論議において考慮されるべきポイント ——

日吉キャンパスの教育という視点から」

佐藤望（司会）（商学部教授・教養研究センター基盤研究座長）

「教養研究センターにおけるカリキュラム研究と学期制」

ディスカッサント：清家 篤（慶應義塾長）

2013年6月27日（木）18：15～
日吉キャンパス 来往舎 大会議室

学内の方はどなたでもご参加ください

7学部の新入生を受け入れ、複雑なカリキュラムが並行して行われている日吉キャンパスは、学期制改革が行われた場合に最も大きな影響を受けます。カリキュラムの国際化や、時代に即した教育体制を着実に促進するために、何が必要であり、何を变えるべきで、何を守るべきなのかということ、塾長を交えて話し合います。

問い合わせ：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp